

岩崎英重 いほざき 維新史家。明治七年高知縣土佐郡土佐山村生れ。大正十五年五月十五日没（八七四—九三六）。號如水、如水生、如水迂史、秋月鏡川、鏡川等。明治二十七年上京。雜誌『明治會叢誌』の編輯に従事し、英語專修學院の學長。卒業後佐佐木高行の秘書となる。二十九年から諸新聞の執筆を、三十一年から『富士新聞』を發刊。大正一年山内家家史編纂會、また日本史籍協會を創設し、七年文部省維新史料編纂會の任じられた。小説家田中英光の實父。

編著書 『無聲鴈鳴』 (編、明治二十一年五月、二十八年五月)、 『山櫻集』 (編、明治二十八年一月、二十六年別發社)、 『櫻田義學録問題辯妄—附論表』 (岩崎鏡川名、大正九年十月緒言、無刊記) 等。